

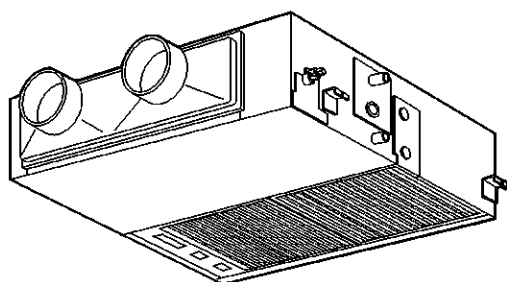


ダイキンエアコン スカイエア

取扱説明書

〈セパレート形〉

天井埋込カセット形
ビルトインHiタイプ



室内ユニット

新冷媒シリーズ(R410A)

FHBP40A	FHBP71A
FHBP45A	FHBP80A
FHBP50A	FHBP112A
FHBP56A	FHBP140A
FHBP63A	FHBP160A

●このたびはダイキンエアコンをお買上げいただき、まことにありがとうございます。

●この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。

正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。

お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。

●この取扱説明書は室内ユニット専用ですので、室外ユニット付属の取扱説明書とあわせてご覧ください。
保証書はお買上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

ご使用前の

安全について	
必ず守ってください	1
ご使用前に	
必ずお読みください	4
各部の名前と働き	4
リモコン各部の名前と働き	5

ご使用前の

運転について

運転のしかた	
冷房・暖房・自動・送風運転のしかた	7
マイコンドライ運転のしかた	9
風向調節のしかた	10
タイマー運転のしかた	11
複数台同時運転の場合	13
上手な使いかた	13

運転について

お手入れについて

お手入れのしかた	
日常のお手入れ	14
シーズン始め・終わりのお手入れ	15

お手入れについて

知っておいてください

調子がおかしいときは	16
別売品について	18
製品の種類と運転音	19
安全にお使いいただくために	20
アフターサービスと保証について	21
お客様ご相談窓口	裏表紙

知っておいてください


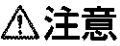
上手に使って上手に節電

安全について






必ず守ってください

ご使用前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください













- ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
 注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性または物的損害の可能性のあるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

- 本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

 絶対にしないでください。	 必ず指示どおりに行ってください。	 必ずアース工事をしてください。
 絶対にぬれた手で触れないでください。	 絶対に水にぬらさないでください。	

警告 使用上の注意事項

- 長時間冷(温)風を体に直接当てない、冷やし過ぎ(暖め過ぎ)ない
体調悪化・健康障害の原因になります。 禁止
- 吸込口・吹出口や風向羽根に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。 禁止
- 分解や改造・修理をしない
水もれや感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。 禁止
- 調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。 禁止
- 調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない
火災や故障の原因になります。 禁止
- 冷媒がもれたら火気厳禁
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。 禁止
- ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない
針金などを使用すると故障や火災の原因になります。 禁止
- 可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。 禁止
- 電源ブレーカーによるエアコンの運転や停止をしない
火災や水もれの原因になります。
また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、けがの原因になります。 禁止
- 異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源をしゃ断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。
- 電源は必ずエアコン専用の電源を使用する
専用以外の電源を使用すると発熱・火災・故障の原因になります。
- 洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、お買上げの販売店に相談する
運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。

⚠️ 注意 使用上の注意事項

- **特しゅ用途には使用しない**
精密機器・食品・美術品などの保存、
動植物の飼育や栽培など、
特しゅ用途に使用すると、
対象物の性能・品質・寿命に悪影響を
およぼすことがあります。  禁止
- **長期使用で傷んだままの据付台などを
使用しない**
傷んだ状態で放置するとユニットの
落下につながり、けがなどの原因に
なることがあります。  禁止
- **室外ユニットの上に乗ったり、物を
載せたりしない**
落下・転倒などにより、けがの原因に
なることがあります。  禁止
- **室内・外ユニットの真下や近くにぬれて
困るものは置かない**
運転条件によっては、本体や冷媒配管への
結露・エアフィルターの汚れ・
ドレン出口のつまりで水が滴下し、
家財などをぬらす原因になることがあります。  禁止
- **エアコンの風が直接当たるところで
燃焼器具を使わない**
燃焼器具の不完全燃焼の原因に
なることがあります。  禁止
- **室内ユニットの真下でほかの暖房器具を
使わない**
暖房器具の熱により吸込グリルなどが
変形することがあります。  禁止
- **動植物に直接風を当てない**
動植物に悪影響をおよぼす原因に
なることがあります。  禁止
- **吹出口の1m以内にスプレー缶などを
置かない**
室内・外ユニットからの温風により
スプレー缶などが爆発するおそれ
があります。  禁止
- **本体やリモコンで遊ばせない**
誤った操作による体調悪化や
健康障害の原因になることがあります。  禁止
- **室外ユニットの吸込口やアルミフィンに
さわらない**
けがの原因になることがあります。  禁止
- **室外ユニットの吹出口を取り外さない**
ファンが高速で回転し、けがの原因に
なることがあります。  禁止
- **吸込口や吹出口をふさがない**
能力低下や故障の原因になることが
あります。  禁止
- **リモコンは絶対に分解しない**
内部を手で触れると感電や故障の
原因になることがあります。
内部の点検調整はお買上げの販売店に
ご依頼ください。  禁止
- **ぬれた手で操作しない**
感電の原因になることがあります。  ぬれ手禁止
- **エアコンを水洗いしない**
漏電によって感電や火災の原因に
なることがあります。  水ぬれ禁止
- **ときどき換気を行う**
換気が不十分な場合は、酸素不足の
原因になることがあります。
特に燃焼器具と一緒に使用するときは、
ご注意ください。  !
- **お手入れのときは必ず運転を停止し、
電源ブレーカーをしゃ断する**
感電やけがの原因になることが
あります。  !
- **室内・外ユニット内部の洗浄は
お客様自身で行わず、
必ずお買上げの販売店に依頼する**
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、
樹脂部分が破損したり水もれなどの原因に
なることがあります。
また、洗浄剤が電気部品やモーターにかかると
故障や発煙・発火の原因になることが
あります。  !
- **室外ユニットの周辺に、物を置かない、
落ち葉がたまらないようにする**
落ち葉などがあると小動物が侵入して、
内部の電気部品に触れると、
故障や発煙・発火の原因になること
があります。  !
- **高所作業をするときは足場に気をつける**
足場が不安定な場合、
落下・転倒によりけがの原因に
なることがあります。  !

⚠ 警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない

据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●別売品の取付けは、自分でしない 別売品は必ず当社指定のものを使用する

据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●アース工事を行う

アース線は、ガス管・水道管・
避雷針・電話のアース線に接続しない
アースが不完全な場合は、感電や火災の
原因になります。



●漏電しゃ断器を取り付ける (専門業者へ依頼する)

感電や火災の原因になります。



●冷媒もれ対策は、販売店に相談する

万一、冷媒がもれて限界濃度を
超えると、酸欠事故の原因になります。
小部屋に据え付ける場合は、冷媒が
もれても限界濃度を超えないように
対策する必要があります。



⚠ 注意 据付上の注意事項

●可燃性ガスのもれをおそれのある場所へは設置しない

万一、ガスがもれてユニットの
周囲に溜まると、発火の原因に
なることがあります。



禁止

●リモコンは、水のかかる おそれのある場所に設置しない

水が機器の内部に入ると、
感電のおそれがあるほか、
内部の電子部品が故障する原因に
なることがあります。



水ぬれ禁止

●ドレン配管は、確実に排水するように 施工する

不完全な場合は、屋内に水もれし、
汚れや故障の原因になることが
あります。



据付場所について

- まわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？
- 次のような場所では使用しないでください。
 - a. 切削油など鉱物油の立ち込めるところ
 - b. 海浜地区など塩分の多いところ
 - c. 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
 - d. 工場など電圧変動の多いところ
 - e. 車両・船舶への搭載など
 - f. 調理場など油の飛沫や蒸気が多いところ
 - g. 電磁波を発生する機械のあるところ
 - h. 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ

●防雪対策されていますか？

防雪フードなど、詳細はお買上げの販売店へ
ご相談ください。

電気工事について

- 電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要ですが、お買上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。
- エアコン専用の回路をご使用ですか？

運転音にもご配慮を

●次のような場所を選んでいませんか？

- a. エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
- b. 室外ユニットの吹出口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないようなところ

●室外ユニットの吹出口近くに障害物はありませんか？

機能低下や運転音増大のもとになります。

●使用中に異常音がある場合はお買上げの販売店にご相談ください。

ドレン配管の排水について

●ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？

冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でゴミ・ホコリなどがつまり、室内ユニットから水がもれる原因になることがあります。
運転を停止して、お買上げの販売店にご相談ください。

必ずお読みください

ご使用前に

本室内ユニットは、組合せのシステムにより次のタイプがあります。
どのタイプとして設置されているかお買上げの販売店に確認してから操作してください。

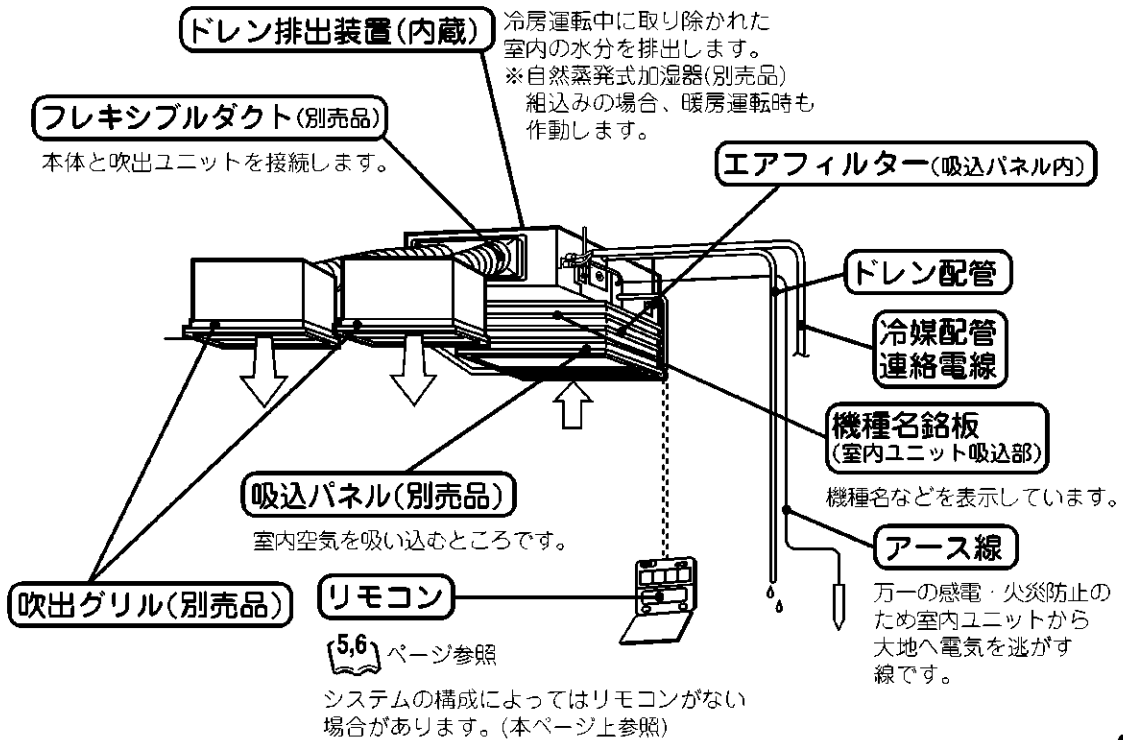
冷暖房兼用タイプとしてご使用の場合	冷房専用タイプとしてご使用の場合
<p>●冷房・暖房・自動・マイコンドライ・送風運転ができます。</p> <p>室内ユニット(接続台数4台まで)</p> <p>冷暖房兼用 室外ユニット</p> <p>リモコン付ユニット</p> <p>リモコンなしユニット (同時運転マルチとしてご使用の場合)</p>	<p>●冷房・マイコンドライ・送風運転ができます。</p> <p>室内ユニット</p> <p>冷房専用 室外ユニット</p> <p>リモコン付ユニット</p>

お願い

- 運転操作についてはリモコン付ユニットに付属の取扱説明書にしたがって操作してください。また、ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、ワイヤレスリモコンキットに付属の取扱説明書を合わせてご覧ください。
- ワイヤードリモコンにはBRC1EタイプとBRC1Cタイプの2種類があります。BRC1Eタイプをご使用の場合は、リモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。BRC1Cタイプをご使用の場合は、この取扱説明書をご覧ください。

ご使用の前に

各部の名前と働き



リモコン各部の名前と働き

- ご使用のリモコンがBRC1Eタイプの場合は、リモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- リモコンにはBRC1Eタイプ・BRC1Cタイプの2種類があります。室外ユニットの種類により組み合わせるリモコンが異なります。(本文の説明はBRC1C1で記載しています。)
- 室内ユニットにより装備している機能が異なります。装備されていない機能のボタン(本文中に記載のないボタン)を操作した場合には、「本機能はありません」表示が表示されます。機能(ボタン)の詳細については、お買上げの販売店にご確認ください。

運転モード表示

運転中の状態を表示します。
 ●冷房専用タイプの場合「自動」「暖房」はありません。

リモコンサーモ部

リモコン付近の室温を感知します。

換気清浄表示

全熱交換器ユニット「ベンティエール」など接続時に表示します。

入/切タイマー時間表示

タイマー時間を表示します。

点検/試運転表示

点検/試運転ボタン(サービス用)を押すと、いずれが表示します。
 ●通常は使用しないでください。

設定温度表示

設定温度を表示します。

運転/停止ボタン

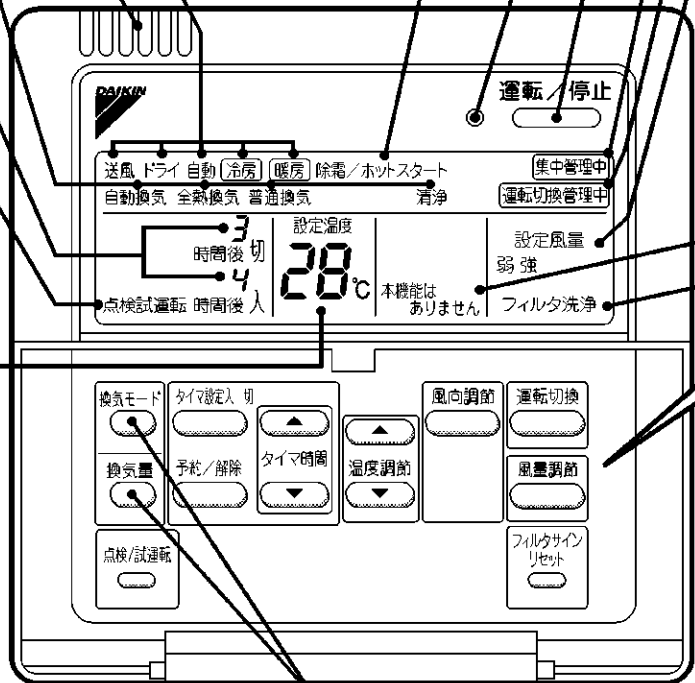
1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

運転ランプ(赤)

運転中、点灯します。

除霜/ホットスタート表示

8 ページ参照



全熱交換器ユニット「ベンティエール」など接続時に使用します。詳しくは全熱交換器ユニットの取扱説明書をご覧ください。

表示部

(上の表示は説明のため、すべてを表示しています。実際の運転時とは異なります。)

- リモコンは直射日光のあたる場所には設置しないでください。液晶表示部が変色し表示できなくなることがあります。
- リモコンコードをひびいたり、ねじったりしないでください。故障の原因になることがあります。
- リモコンのボタンを先のとがったもので押さないでください。破損し、故障の原因になることがあります。

集中管理中表示

集中制御機器(別売品)で管理され、リモコンからの操作が禁止されているときに表示します。

運転切換管理中表示

この表示のあるリモコンは「冷房」「暖房」「自動」「ドライ」の切換えができません。

風量表示

設定した風量を表示します。

機能なし表示

- 操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には「本機能はありません」と数秒間表示が出る場合があります。
- 複数台同時運転の場合「本機能はありません」表示はすべての室内ユニットにその機能が装備されていないときに限り表示されます。1台でもその機能を装備した機種があれば表示されません。

フィルター洗浄表示

14 ページ参照

タイマー設定入/切ボタン

11,12 ページ参照

予約/解除ボタン

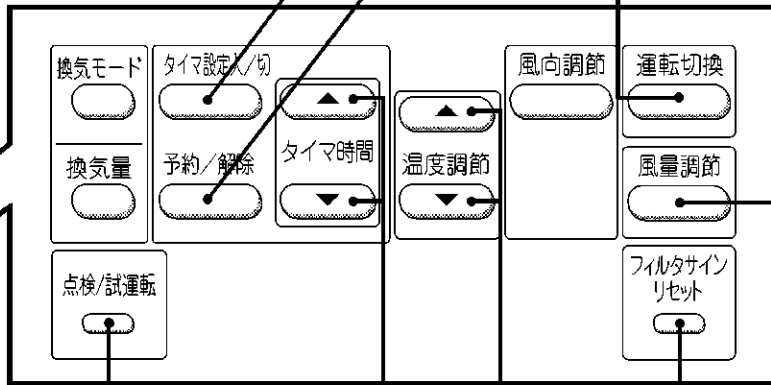
11,12 ページ参照

風量調節ボタン

このボタンを押すごとに「弱」「強」の2段階の調節ができます。

運転切換ボタン

運転モード(「冷房」「暖房」「自動」「送風」「ドライ」)を切り換えるときに押します。



点検/試運転ボタン(サービス用)

点検または試運転時に押します。
● 通常は使用しないでください。

タイマー時間ボタン

タイマー時間の設定のときに押します。

11,12 ページ参照

フィルターサインリセットボタン

15 ページ参照

温度調節ボタン

温度の設定のときに押します。

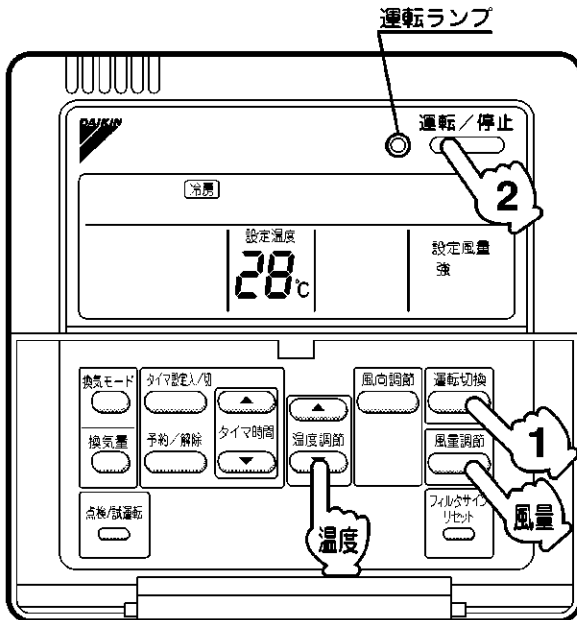
8 ページ参照

操作部

(上の図はふたを開けた状態を示しています。)

運転のしかた

冷房・暖房・自動・送風運転のしかた



準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源をしゃ断しないでください。始動を円滑にするためです。

1

運転切換を数回押し、「冷房」「暖房」「自動」「送風」のうちご希望の運転に切り換えます。

- 冷房専用タイプの場合は「冷房」と「送風」のみ設定可能です。

2

運転/停止を押します。運転ランプ(赤)が点灯し、運転を開始します。

- 上の表示は冷房運転の場合です。

運転の内容と働き

冷房	暖房	送風									
おすすめ設定温度は、26～28℃です。	おすすめ設定温度は、18～23℃です。	室内の空気を循環させます。									
自動(冷暖自動) <ul style="list-style-type: none"> ●運転中、ある室内温度を境に自動で冷房運転 ↔ 暖房運転が切り換わります。 ●設定温度は変更できますが、運転内容が切り換わると自動で設定温度も変更します。 (室温を一定に保つ運転ではありません。) 「自動冷房」→「自動暖房」時は5℃設定温度が下がります。 「自動暖房」→「自動冷房」時は5℃設定温度が上がります。 ●「自動」運転にすると設定温度に対して体感温度の補正を行うので、年間を通じて快適さを保ちながらさらに省エネ運転ができます。 											
例 「自動冷房」で27℃にセットされた状態から、室内温度が下がり25℃以下になると「自動暖房」に切り換わります。その時、設定温度は22℃に変更され、さらに室内温度が下がり22℃以下になったところで暖房運転が始まります。暖房→冷房の時も同様になります。											
<table border="1"> <tr> <td>室内温度</td> <td colspan="2">～ 25℃ ～</td> </tr> <tr> <td>設定温度</td> <td>22℃</td> <td>27℃</td> </tr> <tr> <td>運転状態</td> <td>暖房</td> <td>送風</td> </tr> </table>			室内温度	～ 25℃ ～		設定温度	22℃	27℃	運転状態	暖房	送風
室内温度	～ 25℃ ～										
設定温度	22℃	27℃									
運転状態	暖房	送風									

温度・風量・快速冷暖の設定

温度 温度調節を押します。
「▲」を押すごとに1℃ずつ上がります。
「▼」を押すごとに1℃ずつ下がります。

- 送風運転の場合は設定できません。

風量 風量調節を押し
「弱」「強」のうちご希望の運転に
切り換えます。

- 機械保護のため、自動で風量をコントロールすることがあります。
- 室温に応じて、自動で風量を変更することがあります。
また、ファンが停止する場合がありますが、異常ではありません。
- 風量の切替完了までに時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。

停止 もう1度**運転/停止**を押します。
運転ランプが消灯し、運転を停止します。

- 暖房運転の場合、停止後に室内ユニット内の熱を取り去るため約1分間は送風運転します。

使用条件

下記以外の使用条件で長時間運転すると、安全装置が働き運転しないことや室内ユニットから露が落ちる場合があります。

運転モード	タイプ	使用条件(室内ユニット吸込空気)		
		温度	湿度	
冷房	冷暖房兼用	21~32℃	80%以下	
	冷房専用			
暖房	冷暖房兼用	15~27℃	—	
自動	冷暖房兼用	冷房	21~32℃	80%以下
		暖房	15~27℃	—

お願い

- 運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。
ドレン排出装置の残留運転のため、必ず5分以上待ってください。
水もれや故障の原因になることがあります。

運転について

暖房運転の特性

運転開始について

- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。
タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転を行います。

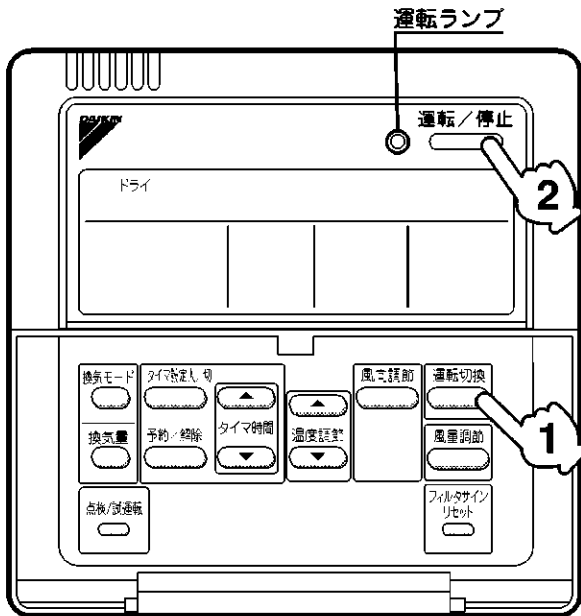
除霜運転

- 室外ユニットに霜が付くと暖房能力が下がるので自動で除霜運転に切り換わります。
- 温風が止まり、リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。
- 約6~8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。

外気温度と暖房能力について

- 外気温度が下がるにつれて暖房能力が低下します。
このような場合はほかの暖房器具と併用してお使いください。
(燃焼器具と併用の際は、こまめに換気してください。)
エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから暖まるまで、しばらく時間がかかります。
エアコン内部の温度がある程度高くなるまでは、室内ファンは自動で微風運転になります。
- 温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーキュレータ(室内循環用ファン)のご使用をおすすめします。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

マイコンドライ運転のしかた



準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源をしゃ断しないでください。始動を円滑にするためです。

1

運転切換を数回押し、「ドライ」に切り換えます。

2

運転/停止を押します。運転ランプ(赤)が点灯し、運転を開始します。

停止

もう1度運転/停止を押します。運転ランプが消灯し、運転を停止します。

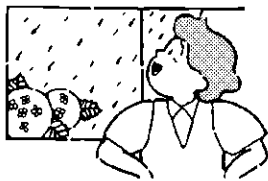
お願い

- 運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。ドレン排出装置の残留運転のため、必ず5分以上待ってください。水もれや故障の原因になることがあります。

運転の内容と働き

マイコンドライ

- マイコンドライとは、冷え過ぎを防止するために室温をできるだけ下げないよう、弱めの冷房運転と停止を繰り返して湿気を取る機能です。



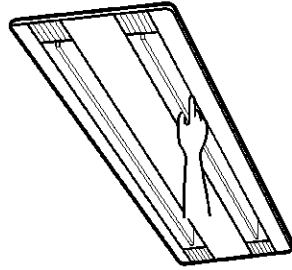
マイコンドライ運転について

- 温度と風量はマイコンが自動でコントロールしているため、運転中は温度と風量の設定・変更はできません。
- 室温が20℃以下のときは運転できません。

風向調節のしかた

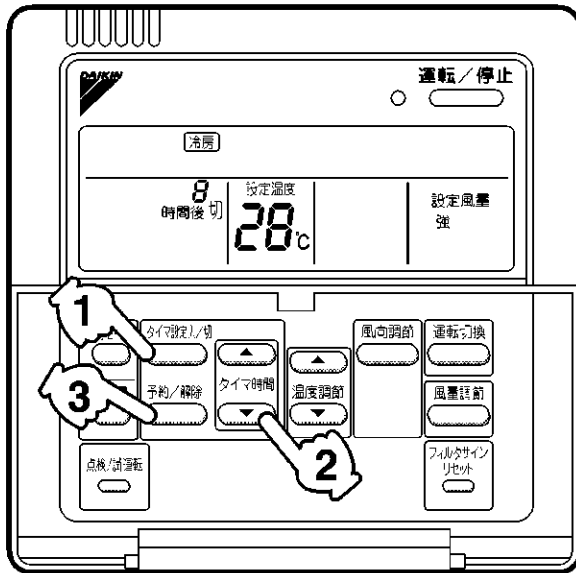
吹出グリル(別売品)をご使用の場合

- 上下方向



吹出グリル部の水平羽根を風を出したい方向に向けてください。
冷風はやや上向きに吹き出ると、
効果が上がります。

タイマー運転のしかた



●上の表示は「8時間後切」の場合です。

1 タイマー設定入/切を押し、「時間後切」か「時間後入」を選びます。押すごとに表示が、「表示なし」←「時間後切」→「時間後入」と切り換わります。「時間後切」または「時間後入」が点滅します。

2 タイマー時間を押し、時間を設定します。「▲」を押すごとに1時間ずつ進みます。「▼」を押すごとに1時間ずつ戻ります。

●最大72時間まで設定できます。

3 予約/解除を押します。これで予約完了です。「時間後入」または「時間後切」が点滅から点灯に変わります。

●予約が済むと時間表示部に残り時間を表示します。

タイマー運転を取り消したいときは

取り消し もう1度予約/解除を押します。表示が消えます。

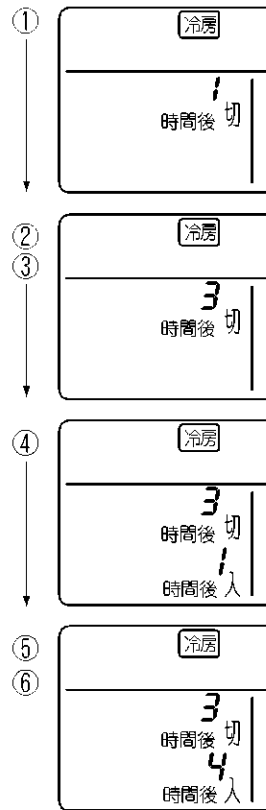
運転の内容と働き

ご希望の時間運転後 停止させたいときは	時間後 切	ご希望の時間経過後運転 を開始させたいときは	時間後 入
<p>例 時間を「8」にあわせると</p> <p>↓</p> <p>「8時間後切」と表示されます。 予約完了から8時間後に運転を停止します。 (注)運転停止後予約は解除され、表示が消えます。</p>		<p>例 時間を「8」にあわせると</p> <p>↓</p> <p>「8時間後入」と表示されます。 予約完了から8時間後に運転を開始します。 (注)運転開始後予約は解除され、表示が消えます。</p>	

「時間後切」と「時間後入」を同時に予約したいときは

●下の例を参照して操作してください。

- 例** 3時間後に停止し、その1時間後に運転する場合
- ↓
- 「3時間後切」と「4時間後入」とを設定します。
- ① **タイマー設定入/切**を押し、「**時間後切**」を選びます。
(「時間後切」が点滅します。)
 - ② **タイマー時間**を押し、時間を「**3**」に設定します。
 - ③ **予約/解除**を押します。
「3時間後切」が設定されます。
(「3時間後切」が点灯に変わります。)
 - ④ 次に**タイマー設定入/切**を押し、「**時間後入**」を選びます。
(「時間後入」が点滅します。)
 - ⑤ **タイマー時間**を押し、時間を「**4**」に設定します。
 - ⑥ **予約/解除**を押します。
「4時間後入」が設定されます。
(「4時間後入」が点灯に変わります。)
これで同時予約完了です。



「時間後切」「時間後入」を同時に予約した場合

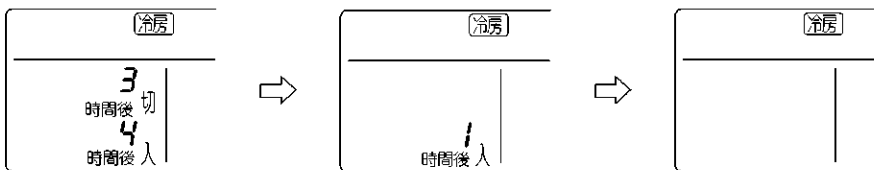
●予約完了したときから同時に残り時間をカウントし、表示します。

例

「3時間後切」
「4時間後入」予約します。

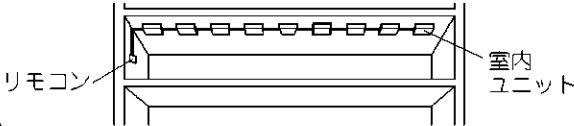
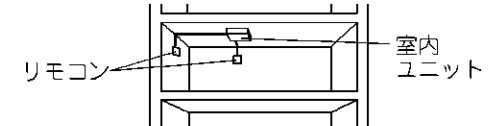
3時間後に運転を停止します。
停止した1時間後から運転を
開始します。

運転開始後予約は
解除されます。



複数台同時運転の場合

複数台の室内ユニットを同時に運転できるシステムになっている場合

1つのリモコンでグループ制御	2リモコン制御
<ul style="list-style-type: none"> ● 1つのリモコンで最大16台まで運転、操作できます。 ● すべての室内ユニットが同じ設定となります。 	<p>2つのリモコンで1台（グループ制御の場合は1グループ）の室内ユニットを運転操作できます。</p> 

お願い ● グループ制御、2リモコン制御の組合せや設定、変更する場合はご自分でなさらずに、必ずお買上げの販売店にご相談ください。

上手な使いかた

● **冷房中は直射日光を入れない**

窓にはカーテンかブラインドをつけてください。



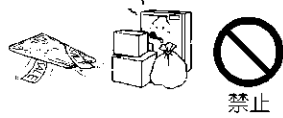
● **ドアや窓を開けたままにしない**

運転効率が悪くなります。



● **吹出口・吸込口の近くにものを置かない**

能力が低下、または運転が停止することがあります。



● **冷やし過ぎ、暖め過ぎに注意してください**

電気のコストがムダになります。



● **エアフィルターはこまめに清掃する**

汚れたまま運転すると能力の低下、または故障の原因になることがあります。



● **テレビ・ラジオ・ステレオなどは室内ユニットやリモコンから1m以上離す**

映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。



● **長時間使用しないときは電源をシャ断する**

電源が入っていると、数ワット～数十ワットの電力(*)を消費するためです。ただし、機械保護のため、再運転するときは必ず6時間以上前に電源を入れてください。



※停止中の消費電力は、室外ユニットの型式などにより異なります。

● **風向調節を上手に使う**

冷たい空気は下に、暖かい空気は上にたまります。風向は、冷房・ドライ時は水平に、暖房時は下向きにして、体に直接当たらないようにしてください。



● **タイマー運転を有効に使う**

室温が設定温度になるまで時間がかかりません。タイマー運転を活用し、事前に運転を開始してください。



お手入れのしかた

警告

- 可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。



注意

- エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。
- お手入れのときは必ず
運転を停止し、電源ブレーカーを
しゃ断する
感電やけがの原因に
なることがあります。
- 足場に気をつける
足場が不安定な場合、
落下・転倒により
けがの原因になる
ことがあります。



水ぬれ禁止



お願い

- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。
故障の原因になることがあります。
- 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの
(キッチンペーパーなど)を取り付けしないでください。
性能が低下し、凍結・水もれの原因になることが
あります。

日常のお手入れ

エアフィルターの清掃のしかた①

リモコンに「フィルター洗浄」の表示がでたら、清掃してください。

- 一定時間運転すると表示します。

お願い

- 表示されるまでの時間を変更することができます。
汚れの多いところでご使用になる場合は
お買い上げの販売店へご依頼ください。

汚れ	表示されるまでの時間
標準	2500時間(1年相当)
多い場合	1250時間(半年相当)

- 汚れがとれなくなりましたら
エアフィルターを交換してください。
(交換用エアフィルターは別売品です。)

18 ページ参照

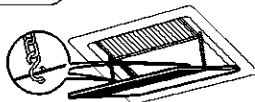
1. 吸込グリルを開けます。

- ①ツマミ2カ所を同時にスライドし、ゆっくり下方へ引いてください。



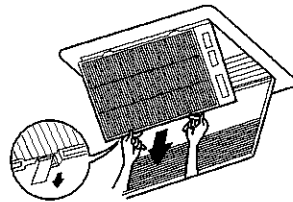
チェーンがついている場合

- ②チェーンを取り外してください。



2. エアフィルターを取り出します。

エアフィルターの布を手前に引きながら下方へ引いてください。



3. 清掃します。

汚れは電気掃除機、または水洗いで清掃してください。

汚れがひどい場合、
中性洗剤を使って洗ってください。



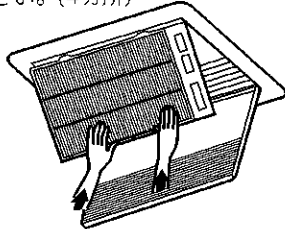
- 50℃以上のお湯で洗わないでください。
変色や変形の原因になることがあります。
- 火であぶらないでください。
燃える原因になることがあります。

お手入れについて

エアフィルターの清掃のしかた②

4. エアフィルターを取り付けます。

- ①ひっかけ2カ所をあわせ、エアフィルターを押し上げてください。
- ②ひっかけが固定されているか確認してください。(4カ所)



5. 吸込グリルを閉めます。

1と逆の手順で閉めてください。

6. リモコンの「フィルター洗浄」の表示を消します。

- BRC1Eタイプの場合は、メインメニューよりフィルターサインリセットを実行してください。
- BRC1Cタイプの場合は、フィルターサインリセットボタンを押してください。

吹出・吸込グリル・外装・リモコンの清掃のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがとれないときは、水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞った布でふきとった後、からぶきしてください。
- 吸込グリルは閉じた状態で清掃してください。

お願い

- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。

シーズン始め・終わりのお手入れ

シーズン始め

確認してください。

- 室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？
障害物がある場合は取り除いてください。

エアフィルターと外装を
清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。
清掃のしかたは [14,15](#) ページ参照

電源を入れてください。

- 電源が入れば、リモコン表示部の文字が表示されます。
(機械保護のため、運転を開始する6時間以上に
前に電源を入れてください。
始動を円滑にするためです。)

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、
内部をよく乾燥させてください。

電源をしゃ断してください。

- 電源が入っているときは、数ワット～数十ワットの電力を消費します。
節電のためにも電源をしゃ断してください。
- 電源がしゃ断されると、リモコン表示部の文字が消えます。

エアフィルターと外装を
清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。
清掃のしかたは [14,15](#) ページ参照

調子がおかしいときは

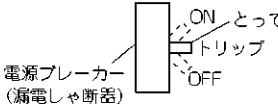
次の場合は、故障ではありません。

症状		原因
運転しない	停止後、すぐに再運転したとき	リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。機械に無理がかからないようコントロールしているためです。3分後に自動で運転を開始します。
	温度調節ボタンを押して、すぐ元の設定に戻したとき	
	リモコンに [集中管理中] が表示され、操作ボタンを押すと表示が数秒間点滅するとき	集中機器により、コントロールされているためです。表示の点滅はそのリモコンで操作できないことを示します。
	電源を入れた直後	運転準備のためです。約1分間待ってください。
	室外ユニットが停止	室温が設定温度に達しているためです。室内ユニットは送風運転となります。
ときどき止まる	リモコンに「U4」「U5」と表示され、停止するが数分で運転を再開する	エアコン以外の機器からの電気雑音(ノイズ)によりユニット間の通信がシャ断されて停止しているためです。電気雑音(ノイズ)がなくなると自動で運転を再開します。
風量が設定どおりにならない	風量調節ボタンを押しても風量が変わらない	室温が設定温度に達したときは、室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転となります。
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき(油分やホコリの多い場所)	室内ユニット内部の汚れがひどい場合に、温度ムラが生じるためです。(※)
	除霜運転中および除霜終了後、暖房運転に切り換わったとき	霜が溶け、湯気となって出てくるためです。
音が出る	冷房時や除霜時の「シュー」というかすかな連続音	エアコン内部にガス(冷媒)が流れている音です。
	運転開始・停止直後、除霜開始・停止直後の「シュー」という音	ガス(冷媒)の流れが止まる音、および流れが変わる音です。
	運転中や停止後の「シャー」「ジュルジュル」というかすかな連続音	ドレン排出装置が作動している音です。 [4] ページ参照
	運転中と運転停止後の「ピシピシ」というキシミ音	樹脂部品が温度変化により伸縮するためです。
ホコリが出る	長時間運転停止後、ふたたび運転を始めるとき	室内ユニット内部に付着したホコリが吹き出るためです。
ニオイが出る	運転中	部屋のニオイ、たばこのニオイなどが室内ユニット内部で吸着されて吹き出すためです。
リモコンに [E] と液晶表示が出る	電源を入れた直後	システムが初期状態を確認しているためです。一時的に表示するだけです。
よく冷えない	マイコンドライ運転中	マイコンドライ運転は、室温をできるだけ下げないような運転をするためです。 [9] ページ参照

※室内ユニットの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買上げの販売店にご依頼ください。

知ってほしいこと

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
全然運転しない	電源ヒューズが切れていませんか？	電源をしゃ断してください。
	電源ブレーカーがしゃ断されていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ブレーカーのところがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのところがトリップ位置の場合は、電源を入れないでください。(販売店にご連絡ください。) 
	停電ではありませんか？	停電復帰後、再運転してください。
運転するとすぐに止まる	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 14 ページ参照
よく冷えない、よく暖まらない	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 14 ページ参照
	設定温度は適正ですか？	適正な温度・風量・吹出風向に設定してください。
	設定風量が「弱」になっていませんか？	
	風の吹出方向は適正ですか？	
	窓や扉が開いていませんか？	しっかり閉めてください。
	〔冷房時〕 直射日光が入っていませんか？	窓にカーテン・ブラインドをつけてください。
	〔冷房時〕 在室人員が多すぎませんか？	
〔冷房時〕 室内に熱源(OA機器など)が多すぎませんか？		

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理しないで、お買上げの販売店にご連絡ください。

このとき、症状と機種名(保証書または **19** ページ参照)をお知らせください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

⚠ 警告

●異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源をしゃ断する

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。



症状	次の処置をしてから連絡を
電源ヒューズ・電源ブレーカー・漏電しゃ断器などの安全装置がたびたび作動する。	電源を入れないでください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源をしゃ断してください。
エアコンから水がもれる。	運転を停止してください。
リモコンの「運転ランプ」「点検表示」「ユニットNo.」が点滅・点灯し、「異常コード」が出る。	リモコンの表示内容を連絡してください。 〔BRC1Eタイプの場合は、リモコンの表示にしたがって異常コードと機種名を確認のうえ、連絡してください。〕

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。ご入用の際にはダイキン純正品とご指定ください。ただし同時組込みできないものがあります。詳細はお買上げの販売店にお問合わせください。

⚠ 警告

●別売品の取付けは、自分でしない
別売品は必ず当社指定のものを使用する

取付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。 禁止



- 暖房用補助電気ヒーター 寒冷地域で効果的な暖房運転ができます。
(ただし、ダクト風据付け時や、冷房専用タイプとして)
ご使用の場合には、組み込めません。
- 自然蒸発式加湿器・超音波加湿器 室内を適度な湿度に保ち、快適な暖房運転ができます。
- 空気清浄ユニット 高効率電気集塵エレメントにより、室内からタバコの煙やホコリを取り除きます。
- 交換用ロングライフフィルター エアフィルターの汚れがとれなくなったとき、交換してください。
- 高性能フィルター 捕集しにくい微細な塵を捕集し、空気を高度な清浄度に保ちます。

知ってほしいこと

製品の種類と運転音

機 種		FHBP40A	FHBP45A	FHBP50A
項 目	機 能	冷暖房兼用形		
	ユニット構成	分離形		
	凝縮器の冷却方式	空冷式		
	送 風 方 式	直接吹出形		
	定格冷房能力(kW)	3.6	4.0	4.5
	定格ヒートポンプ 暖房標準能力(kW)	4.0	4.5	5.0
	定格ヒートポンプ 暖房低温能力(kW)	3.9	4.4	4.9
運転音 (dB)	室内ユニット	強 38 弱 32	強 38 弱 32	強 39/40 弱 34/33

機 種		FHBP56A	FHBP63A	FHBP71A
項 目	機 能	冷暖房兼用形		
	ユニット構成	分離形		
	凝縮器の冷却方式	空冷式		
	送 風 方 式	直接吹出形		
	定格冷房能力(kW)	5.0	5.6	6.3
	定格ヒートポンプ 暖房標準能力(kW)	5.6	6.3	7.1
	定格ヒートポンプ 暖房低温能力(kW)	5.6	6.2	6.7
運転音 (dB)	室内ユニット	強 39/40 弱 34/33	強 40 弱 34	強 41 弱 35/33

機 種		FHBP80A	FHBP112A	FHBP140A	FHBP160A
項 目	機 能	冷暖房兼用形			
	ユニット構成	分離形			
	凝縮器の冷却方式	空冷式			
	送 風 方 式	直接吹出形			
	定格冷房能力(kW)	7.1	10.0	12.5	14.0
	定格ヒートポンプ 暖房標準能力(kW)	8.0	11.2	14.0	16.0
	定格ヒートポンプ 暖房低温能力(kW)	7.8	10.4	13.3	14.0
運転音 (dB)	室内ユニット	強 41 弱 35/33	強 41 弱 35	強 44 弱 38	強 46/47 弱 41/40


- (注) ● 運転音はJIS B8616(日本工業規格)における数値です。
 ● 実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
 ● /で示された数値は左が50Hz、右が60Hzです。その他は50Hz、60Hz共通です。
 ● この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

(本体への表示内容)

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を室内ユニットの機種名銘板近傍に行っています。

【製造年】(室内ユニットの銘板の中に西暦4桁で表示してあります。)

	<p>※【設計上の標準使用期間】 10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。</p>
---	--

※設計上の標準使用期間とは

- ・運転時間や湿湿度など、以下の標準的な使用条件下での経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- ・設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。
- ・本機は業務用エアコンです。設計上の標準使用期間は、家庭用としてご使用された場合を想定して表示をしています。
- ・P. 22の表1. 「点検周期」と「保全周期」の一覧にしたがい適切な保全行為を行った場合はこのかぎりではありません。

■標準使用条件 日本冷凍空調工業会自主基準による

	項 目	規 定
環境条件	電源電圧	単相200V または三相200V
	周波数	50/60Hz
	冷房室内温度	27℃(乾球温度)
	冷房室内湿度	47%(湿球温度19℃)
	冷房室外温度	35℃(乾球温度)
	冷房室外湿度	40%(湿球温度24℃)
	暖房室内温度	20℃(乾球温度)
	暖房室内湿度	59%(湿球温度15℃)
	暖房室外温度	7℃(乾球温度)
	暖房室外湿度	87%(湿球温度6℃)
	設置条件	製品の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	機種能力に見合った広さの部屋(畳数)
想定時間	1年当たりの使用日数	東京モデル 冷房6月2日から9月21日までの112日間 暖房10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間	冷房 9時間/日 暖房 7時間/日
	1年間の使用時間	冷房：1,008時間/年 暖房：1,183時間/年

- ・設置状況や環境、使用ひん度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

警告

●分解や改造・修理をしない

水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●冷媒がもれたら火気厳禁

エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認の上、運転してください。



禁止

■修理を依頼されるときは 次のことをお知らせください。

- 機種名
- 製造番号と据付年月日 } 保証書に記載してあります。
- 故障状況 — できるだけ詳しく
(リモコンの表示内容も
お知らせください。)
- ご住所、お名前、お電話番号

■無料修理保証期間経過後の修理について

販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、このエアコンの補修用性能部品の製造打切後10年保有しています。

■保守点検契約のおすすめ

エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能が低下することがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について

【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

表1は次の使用条件が前提となります。

- ①ひんばんな運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ②製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年としています。

●表1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	バルブ(電磁弁、四方弁など)	1年	20,000時間
電動機 (ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など)		20,000時間	センサー (サーミスタ、圧力センサーなど)		5年
暖房用補助電気ヒーター		8年	ドレンパン(注3)		8年
空気清浄ユニット		25,000時間	超音波式加湿器	6ヵ月	4年
プリント基板類		5年	リモコンおよびスイッチ類	1年	25,000時間
熱交換器		20,000時間	ファン		室外:10年、室内:13年
電子膨張弁					

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
 注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
 また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
 注3. 建築物衛生法（旧ビル管理法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。
 注4. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間が長い、運転・停止ひん度が長いなど）や使用環境（高温、多湿など）がきびしくなると短縮する必要があります。
 詳細は、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルター		1年	クランクケースヒーター		8年
平滑コンデンサ		10年	自然蒸発式加湿器(注3)	6ヵ月	3年

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
 注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。
 注3. 建築物衛生法（旧ビル管理法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。
 詳細は、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにお問合わせください。
 なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となる場合がありますのでご注意ください。

■移設および廃棄などについて

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。

この製品は「フロン回収・破壊法」に定める「第一種特定製品」です。

- この製品を廃棄またはリサイクル（部品や材料の再利用）する場合には「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。
 - この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。
- いずれの場合も、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
 ●製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

- この製品には保証書がついています。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。
保証期間…据付日から1年
 詳細は保証書をよくお読みください。
- 保証期間内に無料修理を依頼されるときは、販売店またはダイキンコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理に際して「保証書」を必ずご提示ください。ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問い合わせは下記の「ご購入店」へご連絡ください。

ご購入店名	TEL	振付年月日	年	月	日
-------	-----	-------	---	---	---

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

ダイキンコンタクトセンター
(お客様総合窓口)

 **0120-88-1081** (全国共通フリーダイヤル)
FAXでのお問い合わせは 0120-07-0881 (FAX専用フリーダイヤル)
<http://www.daikincc.com> (ご相談対応ホームページ)

営業時間：24時間365日対応いたします。
対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問い合わせをお受けいたします。
(空調機の修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など)

◆ダイキン工業サービス拠点所在地一覧

●SSはサービスステーションの略です。

北海道・東北地区

札幌SS 〒065-0016 札幌市東区北16条東1-9
仙台SS 〒984-0032 仙台市若林区荒井字瀬口15-5

関東・甲信越地区

城南SS 〒143-0015 大田区大森西3-2-9-7
世田谷SS 〒154-0024 世田谷区三軒茶屋1-5-19
江東SS 〒135-0016 江東区東陽5-29-3第2東陽ビル1F
葛飾SS 〒124-0013 葛飾区東立石1-1-19-2
練馬SS 〒176-0012 練馬区豊玉北4-2-3-10
多摩SS 〒183-0055 府中市府中町2-2-1-4
千葉SS 〒260-0007 千葉市中央区祐光1-1-4-7
松戸SS 〒270-2253 松戸市日暮3-1-7-2
横浜SS 〒225-0014 横浜市青葉区窪田西1-6-5
戸塚SS 〒244-0806 横浜市戸塚区上品濃14-2
厚木SS 〒243-0032 厚木市恩名4-5-8-7
つくばSS 〒305-0841 つくば市御幸が丘3
宇都宮SS 〒321-0954 宇都宮市元今泉3-4-1
高崎SS 〒370-0018 高崎市新保町6-4-1
草加SS 〒340-0013 草加市松江町2-1-15-1
川越SS 〒350-1124 川越市新宿町1-4-6
松本SS 〒390-0852 松本市大字島立1100-1
新潟SS 〒950-0941 新潟市中央区女池4-17-33

北陸地区

北陸SS 〒921-8062 金沢市新保本3-5-9
富山SS 〒939-8261 富山市萩原4-2-1-1
福井SS 〒910-0842 福井市開発3-3-4-0-2

東海地区

岐阜SS 〒500-8268 岐阜市豊田番野3-2-13-1
名古屋SS 〒455-0006 名古屋市港区南十一番町4-3
安城SS 〒446-0074 安城市井杭山町高見5-1
津SS 〒514-0823 津市大字半田字池町569-1
静岡SS 〒422-8036 静岡市駿河区敷地1-1-2-7

近畿地区

草津SS 〒525-0027 草津市野村1-1-6
京都SS 〒601-8393 京都市南区吉祥院中河原里西町15
堺SS 〒593-8326 堺市西区鳳西町1-6-9-2
大阪SS 〒530-0034 大阪市北区錦町4-8-2
阿倍野SS 〒530-0034 大阪市北区錦町4-8-2
吹田SS 〒564-0044 吹田市南金田2-2-3-17
枚方SS 〒572-0077 寝屋川市点野5-2-2-10
神戸SS 〒651-0083 神戸市中央区浜辺2-1-30 三宮国際ビル6F
姫路SS 〒670-0974 姫路市飯田1-7-2
奈良SS 〒630-8453 奈良市西九条町3-5-7

中国・四国地区

広島SS 〒732-0802 広島市南区大州5-9-7
岡山SS 〒700-0976 岡山市辰巳2-0-11-0
米子SS 〒683-0004 米子市上橋原6-2-1-7
福山SS 〒721-0973 福山市南藤王町2-12-6
徳島SS 〒770-0873 徳島市東沖洲1-1-17
高松SS 〒761-8071 高松市伏石町2-14-1-2
松山SS 〒791-8016 松山市久万ノ台634-1

九州・沖縄地区

北九州SS 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町3-4
福岡SS 〒811-2207 粕屋郡志免町南里1-10-1
鳥栖SS 〒841-0055 鳥栖市養父町4-7-3-2
長崎SS 〒850-0025 長崎市今博多町2-0-1
熊本SS 〒862-0968 熊本市鳥渡1-1-15-15
大分SS 〒870-0921 大分市萩原4-1-6-2-1
宮崎SS 〒880-0912 宮崎市大字赤江字飛江田701
鹿児島SS 〒891-0115 鹿児島市東開町5-1-2
那覇SS 〒901-0155 那覇市金城5-3-4

SS090A

ダイキン工業株式会社

本社 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル
郵便番号 530-8323

東京支社 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル
郵便番号 108-0075

3P104017-17N M06A106C (0903) 